



④ 梶ヶ谷隧道

レンガ積みアーチになったトンネル。アーチの中央部より上部がレンガ積みで、下部が花崗岩の切石。長手積みやイギリス積みなど、レンガの積み方が工夫されている点も見どころの一つ。中を歩くと足音や声がこだまして、雰囲気もたっぷり。



⑤ 観音寺橋台

石造りの橋台。鹿背山地域から加茂までは、レンガではなく切石積みが多い。理由は定かではないが、それぞれに趣があり、技術力の素晴らしさと石積み的美しさが際立つ。

手前が大仏鉄道の橋台で、奥が現在のJR大和路線。列車と一緒に撮影する人も多く、人気スポットの一つ。



ミニ天丼ざるそばセット 1,250円

⑥ 手打そば処 橋

シコシコとしたのど越しの良さと、風味豊かなそばが味わえる。「冷」と「温」で麺を打ち分け、ダシは5種類の材料から丁寧に取るなど、店主のこだわりがリピーター続出のおいしさ。また、土曜には「粗びき」、日曜には「十割」もいただけるよ♪

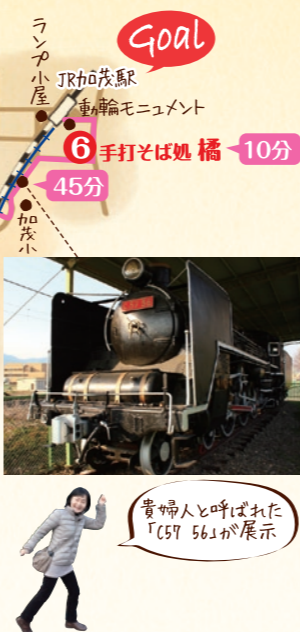


☎ 0774-76-7951
 ④ 木津川市加茂町駅東1-9-10
 ⑤ 11:30~15:00※売り切れ次第終了
 ⑥ 月・金曜(祝日は営業)
 火曜(祝日の場合は翌日)



③ 赤橋

レンガ造りの橋台で、廃線後も地域の生活道路を支え続けるなど、120年近く現役として活躍している。レンガの積み方や切石の組み方などが工夫され、プロポーションの美しい橋台の遺構として人気が高い。



① 大仏鉄道記念公園

大仏駅の南端に当たる場所に、動輪のモニュメントを置いた公園。そばを流れる佐保川の川底から、大仏線の佐保川鉄橋の橋脚の基礎になるレンガの遺構が見つかり、鴻池橋台の基礎部と結ぶことで、大仏線のルートが明確になった。



大仏鉄道研究会(難波久士会長)のメンバー
 問: 090-1077-9975 (事務局・前川)
 ④ www.eonet.ne.jp/~daibutu/

大仏鉄道とは

関西鉄道株式会社(JR関西本線の前身)が、名古屋方面から大阪方面への進出を目指して延長した路線で、「加茂駅」から現在のJR奈良駅舎「大仏駅」を結ぶ約8キロの支線の通称名。奈良市が市制を施行した明治31年に開通。

真紅の電光号

大仏鉄道の機関車は輸入車だが、塗装は黒色ではなく、鮮やかな真紅色だった。さらに、機関車名の変称がユニークで、雷(いかづち)、鬼鹿毛(おにかげ)、電光(いなづま)といった、歴史上活躍した武将の愛馬の名前や自然現象のイメージなどが付けられていた。



かっよかった
 だろっうな!



昭和40年頃の黒髪山トンネルと壁面に関西鉄道の社章

撮影: 高山禮蔵
 提供: 大仏鉄道研究会

② 黒髪山トンネル跡

大仏鉄道の路線で唯一のトンネルがあった場所。また、この辺りは路線上で一番高い場所に位置し勾配がきつくて最大の難所と言われ、乗客や村人が汽車を押したとも伝わる。このトンネルは昭和41年ごろまで現存していたが、道路拡張により取り壊され、今のような切り通しになった。



黒髪山トンネル跡の現在(ドリームランド跡地前)



新緑の奈良から加茂まで
 幻の大仏鉄道を訪ねてウォーク!

鉄道ラッシュの明治時代、奈良市と加茂町の間、静かな農村地帯を、真っ赤な蒸気機関車が走っていたという「大仏鉄道」。起伏のある地形にも関わらず、最短距離になるよう線路を敷き、築堤で高低差を少なくした。東大寺の大仏詣でにぎわい、花形路線になった時期もあるが、9年という短命と資料の少なさは「幻」そのもの。今ではとどろどろに残る遺構が、その物語を伝えるのみだ。今月は新緑の中、「幻の大仏鉄道」を訪ね歩く。

◇参考文献◇大仏鉄道物語(大仏鉄道研究会)
 ◇取材協力◇大仏鉄道研究会

Memo

Blank lined area for notes.